# 事業報告書

第20期(2021年度)

自 2021年4月1日

至 2022年3月31日

京都市中京区六角通新町西入西六角町 101 番地 認定特定非営利活動法人 リボーン・京都

# I. 事業の実施に関する事項

- 1. 特定非営利活動に係る事業
  - (1) 洋裁指導事業
  - ① 洋裁指導事業

実施期間	_
実施場所	_
対象者	_
従事者人数	_
助成金額	- 助成元   -
支出額	39, 760 円
事業内容	新型コロナウィルスの蔓延で昨年度(令和2年度)指導が中断したラ
	オス・サバナケート県立職業訓練校セポン分校、及び、新たに指導の要
	望があったラオス国立サイソムブーン職業訓練校にて洋裁指導事業を実
	施すべく、令和3年度日本 NGO 連携無償資金協力を申請したが、不採択
	となった。しかし、ラオスでの指導事業については現地からの要望もあ
	るので、今後も実施に向けての活動を継続していく。
成果	_

# ② 環境保全活動事業 (洋裁指導教材として活用)

実施期間	通年				
実施場所	リボーン・京都事務局 (G&G ビル 5F 久保方)				
対象者	日本全国の着物保有者				
従事者人数	国内作業従事者 2 名				
助成金額	- 助成元 -				
支出額	133, 200 円(保管料)				
事業内容	不要になった古着物の寄贈を募ることで廃棄の際に輩出される CO2 を 軽減し、環境問題解決に貢献する。寄贈された着物は種類別に仕分けし て保管し、必要に応じて海外事業地での洋裁指導教材として活用する。				
成果	例年、会誌やホームページで呼びかけて1~2月の期間限定で古着物の寄贈を受け付けていたが、今年度は活動内容の見直しがあったため、寄贈の呼びかけを中止した。しかし、中止を知らなかった方からの寄贈も何件かあり、その方たちには着物保管料として段ボール 1 箱につき3,000円の寄付をお願いした。 結果、年間を通して14件(前年度47件)、合計223点(前年度587点)の着物および小物が寄贈された。				
	○着物 52 点 ○喪服 5 点 (-94) (-30) ○夏着物(浴衣含む) 11 点 ○喪服帯 2 点 (-18) (-9) ○羽織 24 点 ○男物 12 点 (-6)				
	○帯 49 点 ○子供 0 点 (-84) (-3)				

○襦袢	12 点	○その他(反物含む)	37 点
	(-15)		(-32)
〇コート	19 点		
	(-21)		
		合計	223 点
			(-364)

## (2) フェアトレード事業

① ルワンダ訓練修了生有志グループとのフェアトレード事業とフォローアップトレーニング

定し
適正
行
ح کے
せを
プフ
ャツ
ピ
グ
゛ド
は洋
3

# ② ラオス・サバナケート県立職業訓練校とのフェアトレード事業とフォローアップトレーニング

実施期間	2021年11月		
実施場所	ラオス国サバナケート県 県立	職業訓練校	文洋裁科 二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二
対象者	同校洋裁科修了生・現地教員 4	名	
従事者人数	事業従事者 4 名 国内作業従事	<b>者</b> 8名	
助成金額	_	助成元	-
支出額	139,409 円		
事業内容	当会の洋裁技術訓練修了者お	よび現地教	女員が、習得した技術を維持・
	向上させて安定した収入を得ら	れるよう、	当会より材料を送って洋服や

	小物の仕立てを注文し、完成品には適正対価を払って彼らの収入向上を
	図る。
指導内容	■ 材料を準備・送付し、製作依頼をする。完成品に仕立て代を払う。
	■ 完成作品に対して評価を行う。
	■ フォローアップ指導を行う。
成果	2007 年、外務省日本 NGO 連携無償資金協力を受け、サバナケート県立
	職業技術訓練校に洋裁科を設立し、2010年1月まで3年に渡り同校で洋
	裁技術指導事業を実施した。その後も、訓練生らが習得した洋裁技術の
	維持向上のため、同校とフェアトレード形式の指導を継続している。
	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、昨年度の資機材の送付が大き
	く遅れてしまい、出来上がった作品の日本到着も大幅に遅れたが、依頼
	していた作品は全て納品された。納品点数は、フード付きコート 10 点、
	ボレロ付ワンピース 7 点、ショートコート 10 点、ベスト 10 点、ブラウ
	ス10点、巻スカート10点の計57点で、洋裁指導責任者が最終評価を行
	い、適正な仕立代を支払った。

# ③ 東日本大震災被災者とのフェアトレード事業

実施期間	通年		
実施場所	宮城県仙台市		
対象者	東日本大震災の影響で京都に避	難していたか	び、その後帰郷した被災者1
	名		
従事者人数	事業従事者 4 名		
助成金額	_	助成元	_
支出額	72,643 円		
事業内容	当会の洋裁技術訓練修了者が	、習得した技	技術を維持・向上させ安定し
	た収入を得られるよう、洋服や	小物の仕立て	てを注文し、完成品には適正
	対価を払って彼女らの収入向上	を図る。	
指導内容	材料を準備・送付し製作依頼す	る。完成品に	こ仕立て代を払う。
成果	2013 年~2015 年まで東日本	大震災の影響	響で京都に避難していた被災
	者を対象とした洋裁ワークショ	ップを実施し	たが、その参加者で現在は
	東北地方に帰郷している方 1 名	に仕立てを依	枚頼するフェアトレード形式
	の支援活動を行っている。		
	2021 年度に作成された半袖フ	ブラウス 9 点	、ワンピース 1 点はフラン
	ス・パリの KIMONOYA という店	舗で販売され	<b>いているが、縫製の丁寧さも</b>
	評価され、納品後すぐに売れた	作品も数点あ	らる。また、お仕立ての依頼
	があった着物リメイクのスーツ	とショートニ	コートの製作も依頼し、評価
	に見合った仕立て代が支払われ	た。	

# ④ バザー事業

実施期間	通年 ※下記参照	
実施場所	※下記参照	
対象者	当会支援者および一般消費者	
従事者人数	事業担当者4名、国内作業従事者14名	
助成金額	- 助成元 -	
収入額	1,349,462 円	

事業内容	海外の洋裁訓練生や訓練修了生が製作した洋服や小物等を、当会のア
	ンテナショップ三田村店、チャリティ展示即売会、バザー出店、ネット
	販売などで販売し、市場で技術習得の成果を問う。収益は訓練生の奨励
	金など活動資金に充当する。洋裁責任者の中島茂代を中心に、購買層や
	売れ筋商品、お客様の声などを参考にした商品開発を心掛けている。
成果	今年度の販売事業も昨年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大の影
	響を大きく受けた。三田村店は政府の緊急事態宣言を受け、4月中旬か
	ら6月中旬までの2カ月間、および8月中旬から9月末までの1ヶ月
	半、休業せざるを得なかった。開店していた期間も、来店者の数が減少
	して売り上げを伸ばすことができなかったが、サマーセール、クリスマ
	スセールでは、昨年度より売上増となった。また、同じく新型コロナウ
	イルス感染拡大の影響で、三田村店以外での販売も ABCafe でのバザー
	のみとなった。
	さらに三田村店については、家主とボランティア双方の事情で12月
	末より休業となったため、今後は、新たな販売方法を検討する必要があ
	る。
	売上総額:1,349,462円(主な内訳は以下の通り)

# <主な売上内訳>

日程	チャリティバザー		チャリティバザー バザー以外	
12 月	Ikebana	25, 100 円	三田村店(通期)	268, 300 円
	International Fair			
	2021 ルワンダ大使			
	館ブース			
3 月	ABCafe チャリティ	391,400 円	三田村店(サマーセール)	308, 720 円
	ーバザー			
			三田村店 (クリスマスセール)	182, 140 円
			瓢樹(通期)	20,950円
			その他(通期)	152,852 円
			計	1, 349, 462 円

# (3) 啓発及び広報事業

# ① 人材育成事業

4744-H0 BB			
実施期間	_		
実施場所	_		
対象者	-		
従事者人数	_		
助成金額	_	助成元	_
支出額	_		
事業内容	学生インターンの採用		
成果	今年度、京都大学大学院の	留学生をインタ	マーンとして受け入れてほし
	い旨、留学生の指導教官より	依頼があったか	ぶ、調整に手間取ったため受
	入れ中止となった。しかし今日	後も、学生イン	ノターンの受入依頼があれば
	積極的に受入れて、新たな人	材の育成につと	こめていく。

## ② 広報支援事業

実施期間	通年
実施場所	リボーン・京都 日本事務局
対象者	当会支援者および一般市民
従事者人数	事業担当者 4 名
助成金額	-   助成元   -
支出額	
事業内容	4月25日の日経新聞で、リボーン・京都のことが大きく取り上げられた。リボーンウェアの写真が一面を使って掲載されたり、リボーン・京都の活動が「始末のこころでくらす」という SDGs にも繋がるタイトルで紹介された。その記事に対する反響も大きく、読んだ方から「記事で紹介された裂織ベストがほしい。」「祖母の形見の着物で洋服を作ってほしい。」といった注文が相次いだ。また今年度も、新型コロナウイルス感染拡大の影響で人が集まるイベント等には参加できなかったが、会誌の発行やホームページ・Facebookでの広報活動は継続して行った。

## ③ 啓発事業

実施期間	2021年4月~2022年3	月	
実施場所	リボーン・京都 日本事績	<b></b>	
対象者	当会支援者および一般市	i民	
従事者人数	事業担当者2名		
助成金額	_	助成元	_
支出額	_		
事業内容	兵庫県高等学校教育研	究会国際理	<b>里解教育部会より、リボーン・京都の</b>
	長年にわたる国際支援活	動について	て講演してほしいとの要望があったた
	め、小玉理事長が JICA 神戸で兵庫県の高等学校の先生方に向けての講		
	演を行った。参加者には、国際支援活動についての理解と、リボーン・		
	京都に関する理解を深め	てもらう	事ができた。

### <主な活動一覧>

日程	内容	主催	
7/8	令和3年度兵庫県高等学校教	兵庫県高等学校教育研究会	国際理解教育
	育研究会国際理解教育部会	部会	
	第 106 回前期研究大会での講		
	演		
7/26	龍谷大学政策学部の学生2名		
	が本部事務局を訪問		

# ④ 産学連携事業

実施期間	2021年12月~2022年3月		
実施場所	リボーン・京都 日本事務局他		
対象者	京都芸術デザイン専門学校生 28 名		
従事者人数	事業担当者 3 名		
助成金額	_	助成元	_

支出額	_
事業内容	京都芸術デザイン専門学校ハンドメイドコースの1年生28名にリボ
	ーン・京都が帯を提供し、学生がその帯を使って各自でデザインしてバ
	ッグを製作した。できあがったバッグは2月に開催された同校の作品展
	で展示され、リボーン・京都の職員による採点も行われた。その後、3
	月に ABCafe で実施したバザーで、それらの作品を販売した。

## 2. その他の事業 (三田村店での販売額を含む)

	2019 年度	2020 年度	2021 年度
仕入商品売上	262,770 円	37,900 円	38,840 円
お仕立て	45,000 円	0 円	185, 900 円
合計	307,770 円	37,900 円	224, 740 円

## II. 会務報告

# 1. 会員状況 (2022年3月31日現在)

	2019 年度	2020 年度	2021 年度
正会員	47 名	51 名	30名
賛助会員	61名	58 名	40名
ボランティア会員	13名	11 名	16名

## 2. 役員状況 (2022年3月31日現在)

	氏 名	常勤/ 非常勤	現 職 ・ 所 属	任 期
理事長	宇野ひと美	非常勤	(特活)リボーン・京都 理事長	2019年7月23日~2022年5月31日
理事	小玉昌代	非常勤	(社)日本国際民間協力会 理事	2020年6月1日~2022年5月31日
理事	中島茂代	常勤	(特活)リボーン・京都 洋裁指導責任者	2020年6月1日~2022年5月31日
理事	白井幸則	非常勤	エールコーポレーション株式会社 代表取締役	2020年6月1日~2022年5月31日
監事	山元直貴	非常勤	みつわ会計事務所 代表 公認会計士	2020年6月1日~2022年5月31日

## 3. 職員状況 (2022年3月31日現在)

理事長以外に以下の職員がおります。

	有給専従職員	有給非専従職員 (インターン含む)	無給専従職員
国 内	2名	1名	0名

海 外	0名	0 名	0 名

#### 4. 総会および理事会

#### <総会>

#### 2021 年度 通常総会

■ 日時: 2021年6月15日(火)

■ 場所: 認定特定非営利活動法人リボーン・京都 会議室

■ 出席者: 6名

委任状出席 28 名

審議事項: ① 2020 年度 事業報告・会務報告 承認の件

② 2020 年度 決算報告 承認の件

#### <理事会>

#### 2021 年度 第1回理事会

■ 日時: 2021年5月28日(金)

場所: 認定特定非営利活動法人リボーン・京都 日本事務局

■ 出席者: 理事3名

監事1名

委任状出席 2 名

■ 審議事項: ① 2020 年度 事業報告・会務報告 承認の件

② 2020年度 決算報告 承認の件

③ 2021 年度 事業計画・予算案 承認の件

④ 2021 年度 通常総会開催の件

#### 2021年度第2回(臨時)理事会

■ 日時: 2021年9月28日(月)

場所: 認定特定非営利活動法人リボーン・京都 日本事務局

■ 出席者: 理事1名

監事1名

委任状出席2名

■ 審議事項: 今後の活動について

報告事項:外務省 N 連事業申請結果について

財政状況について

#### 2021 年度 第 3 回理事会

■ 日時: 2022年2月22日(火)

場所: 認定特定非営利活動法人リボーン・京都 日本事務局

■ 出席者: 理事3名

監事1名

委任状出席1名

■ 審議事項: 理事長の交代と今後の活動について

■ 報告事項:2021年度事業状況と決算見込み

#### 5. 会誌発行

「News! **甦** vol. 37」 発行:2021年7月6日

内容: コロナ禍の困難の中で感じること(小玉昌代理事長)

- 基礎を学ぶこと (洋裁専門家・中島茂代)
- ラオス洋裁指導事業の現状について(事務局・古谷富美子)
- ルワンダとのフェアトレード (洋裁専門家・星宏美)
- 日本経済新聞にリボーン・京都の記事が掲載されました
- ボランティア紹介
- サマーチャリティーセールのご案内
- チャリティバザーの売上ご報告 (2020年12月~2021年5月)
- 第19期(2020年度)活動計算書

以上